



青き楓

島高だより
平成 20 年度 9 月号
(通巻第 30 号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長室から



「在校生と同窓会」

校長 辰田幸敏

この夏、全国に先がけて島原で「同窓会」という映画が上映された。私は用事があり、残念ながら観ることはできなかったが、主人公が島原出身という設定で島原も舞台となっているという。わが島高や島原城、武家屋敷、猛島海岸、アーケード街などでロケが行われ、島高生や教職員もロケに協力し出演しているらしい。

ところで、長崎や佐世保、そして対馬でも同窓会の役員の方から、若い世代の同窓会への関心が薄く、総会等への出席も少ないという嘆きをよく聞いた。役員の方と一緒に、20～40歳代の参加を増やす方を何度となく話し合った。

私は島高同窓生の1人として、生徒たちに同窓会を身近に感じてもらおうと思い、同窓会館「秋岳館」を利用し、在校生と同窓生が一緒になったイベントができないかと考えていたら、11回生の方から秋岳館で絵画展をやりたいという話を聞いた。早速、私は同窓生と在校生の合同美術展を提案し、今回9月3日から9月30日まで開催することになった。長崎普賢会総会(10/4)や島高同窓会総会(10/25)には合唱部が歌を披露することになっている。

8月に埼玉県で開催されたインターハイでは剣道とレスリングの応援に関東島高同窓会の方が多数応援に駆け付けてくださった。ありがたく、うれしいかぎりである。見知らぬ土地での同窓生の応援は選手たちにとり、さぞ心強かったことだろう。

学校(在校生、教職員)と同窓会、保護者、地域等が一体となった「伝統校・島高」でありたい。

「山中凱利氏と島高美術部合同絵画展」

美術部顧問 谷口英次

本校第11回生の山中凱利さんと美術部による合同絵画展のオープニングセレモニーが、9月3日(水)秋岳館にて行われました。山中さんは挨拶で「この展覧会が卒業生と現役生徒との交流促進につながれば」との思いを語られました。

同展は30日(火)まで。



10月の主な行事予定

- 1日(水)～3日(金)
 - 1・2年：中間考査
 - 3年：学年末考査
- 1日(水) PTA 研修旅行
- 4日(土) 土曜講座
- 6日(月) 後期補習開始
- 11日(土) 土曜講座
- 17日(金) 芸術鑑賞会



第60回 体育祭

体育科 佐々野 薫

第60回体育祭を9月7日に開催し、無事に終了することができました。これは、班長・リーダー長を中心に短い準備期間の中、競技・応援練習にとそれぞれの役割を十分に果たし、一致団結した活動の成果であると考えます。天候も心配されていましたが、願いが届いたのか、絶好の秋空の下でスタートすることができました。

各班とも妥協を許さない厳しい練習を繰り返した「全校生徒による入場行進」は、高校生らしいさわやかさと堂々としたたくましさを感じさせ、これからの島原高校の推進力を見せてくれました。

競技においても、学年を越えて最後まで全力で取り組む姿が感動をよびました。なかでもリレー競技(400MR、800MR、学級対抗R、班別R)においては、トップが何度も入れ替わり、どの班が1位になるか予想のつかない展開に応援も大変盛り上がりました。また、体育の授業の発展としての「組体操」や「まつりのんのこ」は、見学に来られた方々に若さと力強さを伝えることができました。そして、班活動の集大成である「応援合戦」は、どの班も決められた条件の中で創意工夫し、差のつけられない優れたものになりました。体育祭の最終種目は本校伝統の「サークル」です。班別で競った仲間も島原高校の仲間として一斉に肩を組み、かけ声をかけ、自分に仲間にして学校にエールを贈り、声高らかに応援歌を合唱し、友情を誓い合いました。閉会式では、大野PTA会長の音頭で万歳三唱を行い、島原高校の更なる活躍を祈念し、体育祭を終了しました。

体育祭にかける生徒の情熱とさわやかな姿は今後の島原高校の未来を更に明るくするものであり、この体育祭での準備から終了までの取り組みがそれぞれの今後にとって大きなプラスになることを期待します。

保護者の皆様、本校近隣の皆様、ご声援、ご協力ありがとうございました。



【競技の部優勝 4班】 班長 飯田晋平

4班の競技の部の優勝はまさに「**団結**」の勝利です。応援の部は惜しくも入賞を逃してしまいましたが、4班のテーマである「**団結**」は達成できたと思います。

最後に支えてくださった先生方、文句も言わずついてきてくれた4班のみんな、本当にありがとうございました。

【応援の部優勝 7班】 リーダー長 平山智裕

7班は理数科だけで編成されており、今年で4年連続の優勝になりました。僕達が優勝できたのは、昨年度の先輩からのアドバイスや後輩からの力強い支えといった理数科ならではの**団結力**があったからだと思います。

応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

島高大文化祭「青楓祭2008」

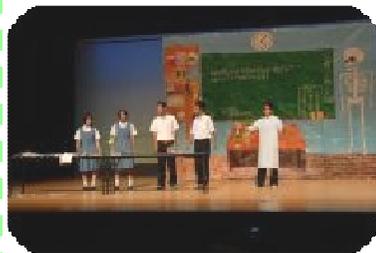
生徒会指導部 谷口英次

3年に1度の大文化祭「青楓祭2008」が9月12日、13日の両日実施されました。

第1日は文化会館にて、映像と音楽と文化部のメッセージによるオープニングセレモニーに始まり、クラス発表の映画や演劇、ダンスなどが続きました。平日の午前中にもかかわらず保護者や一般の方もたくさん訪れホールは満席でした。午後は文化部や家庭クラブ、理数科などの発表が続き、文芸部の演劇で第1日は終了しました。

第2日の午前は本校にて展示・イベントの鑑賞を行いました。特に食品バザーやお化け屋敷には長蛇の列ができていました。午後からは文化会館へ移動。島高音楽祭で大変な盛り上がりを見せていました。その後文化部の発表が続き、最後は合唱部の素晴らしい演奏に、満員の会場とは思えないほど静かに聴き入っていました。閉会式のあと全員で「翼をください」を合唱し、感動的な締めくくりとなりました。

文化部や実行委員の生徒はもちろん、その他の生徒たちもクラス発表での苦労や、鑑賞活動を通じて、文化活動の魅力を再認識できた2日間でした。



第1日目



第2日目



青楓祭を終えて

青楓祭2008実行委員長 2年2組 荒木華蓮

皆さん、今年の青楓祭はいかがでしたか？楽しんでいただけたでしょうか。私は今回実行委員長として「創る」側の立場に立ったわけですが、やはり直接的に関わると青楓祭への思い入れも強く、終わってしまえば達成感とともに、少し寂しいような気持ちになりました。これからも学校生活の中で、様々な行事に関わっていきと思いますが、「観る」側であれ、「創る」側であれ忘れてはならないのは、「人が関わっている」ということです。私も今回、実行委員長をやりとげられたのは、皆さんの支えがあったからだと感謝しております。本当にありがとうございました。

「第2学年 進路講演会」

第2学年主任 吉田英雄

9月17日(水)、福岡カレッジオブビジネスの横山正裕先生をお招きして進路講演会が実施されました。

今回の講演は『しっかり生きよう』という気持ちにさせてくれました。今の私にとって重要なメッセージが沢山ありました。私は、基本的にマイナス思考です。何をやってもすぐ「きつい」と言うし、他人のせいになくなります。でも、それはひとりの人間として普通のごく当たり前のことではなんでしょうか。

弱音も吐きたくなく、「忙しい忙しい」と言って、自分が頑張っていることを他にアピールしたくなります。でも、横山先生がおっしゃっていたとおり「そう言っているうちは、まだ余裕がある証拠。本当に頑張っている人はそういう言葉を口にしない。」

だから私も一度そこまで頑張りたいです。今日のお話しは私を変えるキッカケをくれるものでした。先生に感謝します。



講演に対するある生徒の感想です。生徒たちだけではなく、我々教職員に対しても、社会人としての常識、普段から心掛けるべきことなどを改めて知らされたい機会でした。『変化をチャンスに変える』ことを肝に銘じて今後の学校生活に活かして欲しいと思います。

部活動の主な成績

○レスリング部

第24回全国高校生グレコローマンスタイル選手権大会(8/19)

96kg級 第3位 馬場 貴大

○ソフトテニス部

平成20年度 長崎県高等学校ソフトテニス選手権島原大会(8/24)

男子の部 第3位 森崎・平川組 第3位 本田・中村組

○陸上部

第25回中地区高等学校陸上競技新人大会(8/17)

【女子】

800m 第1位 池田 真陽

400m 第3位 池田 真陽

円盤投げ 第1位 神田 理恵

砲丸投げ 第3位 神田 理恵

走幅跳び 第3位 吉田 瑞希

【男子】

5000m 第2位 白井 孝昌

1500m 第2位 森田 貴士

3000m障害 第2位 森田 貴士

400mハードル 第2位 高原 賢

走高跳び 第3位 高原 賢

1600mリレー 第3位 本多・徳永・高原・松下組

○弁論部

「社会を明るくする運動」中学・高校生弁論大会(7/24)

島原市長賞 荒木 華蓮 最優秀賞 荒木 華蓮

「小さな親切」島原若水会発足40周年記念大会(8/22)

荒木 華蓮

チャレンジ!おおいの国体 出場

レスリング部(4名) 9/28(日)～ 佐伯市総合体育館にて

剣道部(男子4名・女子3名) 10/4(土)～ 豊後大野市大原総合体育館にて

